

様式 2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成20年度末）

(1) 生産から消費に至る食品の安全性の確保

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) a	平成23年度末目標 b	平成20年度末実績 c	達成率 (%) c/b	進捗率 (%)	進捗率分類	今後の方向		備考
										分類	内容	
農産物（林産物を含む）の安全性の確保	農薬取締法の遵守	農薬販売業者への計画的な立入検査の実施件数	農業技術課	88件/年	計画期間中延べ 500件	181件 (H20:88件)	36.2	36.2	イ	継続	取り組みを強化していく。	
		農薬管理指導士延べ認定者	農業技術課	647人	1,200人	959人	79.9	56.4	ロ	継続	引き続き実施していく。	
		農薬適正使用アドバイザー延べ認定者数	農業技術課	153人	450人	361人	80.2	70.0	ロ	継続	引き続き実施していく。	
		特用林産物の栽培技術に関する講習会の開催	林業振興課	4回/年	計画期間中延べ 20回	8回 (H20:4回)	40.0	40.0	イ	継続	引き続き実施していく。	
畜産物の安全性の確保	飼料安全法の遵守	違法飼料給与農家割合	畜産課	0%	0%	0% H20達成	-	ハ	継続	引き続き実施していく。		
		飼料の安全性について啓発指導した牛飼養農家戸数割合	畜産課	100%	100%	100% H20達成	-	ハ	継続	引き続き実施していく。		
	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理手法の導入	畜産課	HACCP方式のデータの収集検体数（特定疾病の実態調査）	畜産課	578検体	2,000検体	2,579検体	129.0	140.0	ロ	継続	引き続き実施していく。
減化学合成農薬、減化学肥料の取り組みの推進	環境保全型農業の推進	エコファーマー認定数	農業技術課	6,513人	7,000人	7,558人	108.0	214.6	ロ	継続	引き続き実施していく。	
減化学合成農薬、減化学肥料の取り組みの推進	甲斐のこだわり環境農産物認証事業の推進	認証基準策定品目の数	果樹食品流通課	32品目	40品目	37品目	92.5	62.5	ロ	継続	引き続き取り組んでいく。	
食品製造施設等における安全性の確保	食品製造施設等の監視指導	食品衛生監視指導計画に基づく監視率（監視指導実施施設率）	衛生業務課	100%	100%	101% H20達成	-	ハ	継続	引き続き実施していく。		
	食中毒防止対策	人口10万人あたりの食中毒患者発生者数	衛生業務課	28人	22人	31人 H20未達成	-	ハ	継続	食品関連事業者の自主衛生管理の徹底が図られるよう、監視指導を強化する。		

様式2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成20年度末）

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) a	平成23年度末目標 b	平成20年度末実績 c	達成率 (%) c/b	進捗率 (%)	進捗率 分類	今後の方向		備考
										分類	内容	
給食施設における 安全性の確保	特定給食施設等 に対する監視指導の 実施	給食施設別巡回指導実施 施設割合	健康増進課	59.4%	65%	41%	63.1	-	八	継続	指導の効率化を図り、計 画的な巡回指導を実施して いく。	
	学校給食における 安全性の確保	学校給食施設巡回指導校数	スポーツ健 康課	32校/年	計画期間中延べ175校	延べ74校 (H20:33校)	42.3	42.3	イ	継続	引き続き実施していく。	
食肉処理段階にお ける安全性の確保	と畜検査の実施	と畜場で処理された枝肉の 微生物検査を実施した枝肉 数	衛生薬務課	牛枝肉 67頭 豚枝肉 83頭	計画期間中延べ 牛枝肉 600頭 豚枝肉 600頭	牛枝肉313頭(H20:163頭) 豚枝肉108頭(H20:58頭)	52.2 18.0	52.2 18.0	イ	継続	重篤な健康被害が起きる牛 の0157検査に重点を置 いて実施していく。	
	食鳥検査の実施	食鳥処理施設で処理された 鶏の体の微生物検査を実施 した羽数	衛生薬務課	40羽	計画期間中延べ 300羽	130羽(H20:52羽)	43.3	43.3	イ	継続	引き続き実施していく。	
流通・販売段階に おける安全性の確 保	農畜水産物の農 薬、抗菌性物質等 の残留検査	残留農薬の収去検査結果の 不適正数	衛生薬務課	0件	0件	0件	H20達成	-	八	継続	引き続き実施していく。	
		残留動物用医薬品の収去検 査結果の不適正数	衛生薬務課	0件	0件	0件	H20達成	-	八	継続	引き続き実施していく。	
流通・販売段階に おける安全性の確 保	HACCPシステ ムの考え方を取り 入れた自主管理体 制の普及	営業者、従事者の受講者数	衛生薬務課	7,622人/年	計画期間中延べ 50,000人	21,122人 (H20:11,431人)	42.2	42.2	イ	継続	引き続き実施していく。	
消費段階における 安全性の確保	県民への食品衛生 知識の普及	食品衛生講習会等への参加 人数	衛生薬務課	965人/年	計画期間中延べ 5,000人	2,291人 (H20:1,276人)	45.8	45.8	イ	継続	引き続き実施していく。	
	きのこ鑑定会の実 施	きのこ鑑定会開催回数	森林環境総 務課(森林 総合研究 所)	15回/年	計画期間中延べ 75回	34回 (H20:17回)	45.3	45.3	イ	継続	今後とも「森の教室」等 において鑑定会を開催するほ か、鑑定員の派遣を行う。	
輸入食品の安全性 の確保	輸入食品の監視指 導及び収去検査の 実施	食品衛生監視指導計画に基 づく監視・検査実施率	衛生薬務課	100%	100%	101%	H20達成	-	八	継続	引き続き実施していく。	
畜産物の生産のた めの調査研究の推 進	薬剤耐性菌発現状 況の把握	薬剤耐性菌の検査件数	県畜産課	24件/年	計画期間中延べ 120件	120件 (H20:72件)	100.0	100.0	イ	継続	引き続き実施していく。	
魚苗供給・試験指 導の充実	養殖魚の防疫対策	養殖業者への巡回実施率	花き農水産 課	80%	100%	100%	H20達成	-	八	継続	引き続き実施していく。	

様式2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成20年度末）

(2) 食品に関する正確な情報の提供

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) a	平成23年度末目標 b	平成20年度末実績 c	達成率 (%) c/b	進捗率 (%)	進捗率分類	今後の方向		備考
										分類	内容	
適正な食品表示の徹底	食品表示合同調査の実施	調査店舗数	食の安全・食育推進室	広域 100店舗 地域 200店舗	計画期間中延べ 500店舗 計画期間中延べ 1000店舗	188店舗 (H20: 92店舗) 271店舗 (H20: 130店舗)	37.6 27.1	37.6 27.1	イ	継続	計画的、効率的に実施し、調査の実効性を確保する。	
		食品適正表示実施率100%の店舗割合	食の安全・食育推進室	53%	80%以上	61.9%	77.4	-	ハ	継続	適正表示が行われるよう取り組みを強化していくとともに、講習会等を通じて、表示制度の徹底を図っていく。	
トレーサビリティシステムの整備	トレーサビリティシステムの利用促進	青果ネットカタログ等による生産情報等の提供数	果樹食品流通課	52件	150件	132件	88.0	81.6	ロ	継続	引き続き取り組んでいく。	
	ホームページによる県産牛肉の生産履歴の公開	ホームページのアクセス数	畜産課	7,000件/年	10,000件/年	10,000件/年	100%	-	ハ	継続	引き続き実施していく。	
食品の安全性に関する情報提供	消費者等への情報提供	県のホームページアクセス件数	食の安全・食育推進室	約7,000件/年	10,000件/年	14,287件/年	142.8%	-	ハ	継続	引き続き実施していく。	
食品の安全性に関する相談の受付、苦情の対応	食品安全110番の設置、運営	食品安全110番による相談対応件数	食の安全・食育推進室	82件/年	計画期間中延べ 450件	342件 (H20: 165件)	70.7	70.7	イ	継続	引き続き実施していく。	
	イベント開催時の相談等への対応	相談対応件数	食の安全・食育推進室	7件/年	計画期間中延べ 100件	62件 (H20: 25件)	62.0	62.0	イ	継続	引き続き実施していく。	
食の安全・安心について普及・啓発	リスクコミュニケーションの推進	意見交換会等の参加者数	食の安全・食育推進室	480人/年	600人/年	986人/年	164.3%	-	ハ	継続	引き続き実施していく。	
	研修会の開催や勉強会等への講師派遣	研修会等開催回数	食の安全・食育推進室	14回/年	計画期間中延べ 150回	63回 (H20: 30回)	42.0	42.0	イ	継続	引き続き実施していく。	
	栄養士、調理師、食生活改善推進員等に対する研修会の実施	研修会への参加者数	健康増進課	4,939人/年	5,000人/年	3,319人/年	66.4	-	ハ	継続	多数の参加者が得られるよう、内容や開催時期を検討し、計画的に研修会を開催する。	

様式2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成20年度末）

（3）消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) a	平成23年度末目標 b	平成20年度末実績 c	達成率 (%) c/b	進捗率 (%)	進捗率分類	今後の方向		備考
										分類	内容	
消費者、生産者、事業者との交流促進	児童・生徒・先生等の牧場等への視察の実施	牧場等視察学校児童・生徒数累計	畜産課	4,337人	7,000人	4,885人	69.8	20.6	口	継続	関係機関への働きかけ等、今後取り組みを強化していく。	
地産地消の推進	地元農林畜水産物の地産地消の推進	地産地消サポーター数	果樹食品流通課	1,022人	1,250人	1,180人	94.4	69.3	口	継続	引き続き取り組んでいく。	
	地産地消県民運動の推進	直売所の登録農家数	果樹食品流通課	延べ9,412人	延べ 10,700人	延べ 10,211人	95.4	62.0	口	継続	引き続き取り組んでいく。	
	学校給食等における地元の農林畜水産物の活用	学校給食への牛乳の年間供給本数	畜産課	児童生徒1人当たり194本/年	児童生徒1人当たり194本/年	児童生徒1人当たり194本/年	H20達成	-	ハ	継続	引き続き実施していく。	
		学校給食における県産食材の使用割合（重量ベース）	果樹食品流通課 スポーツ健康課	31.7%	35%以上	37.6%	107.4%	-	ハ	継続	引き続き取り組んでいく。	
食育の推進	農業体験学習の推進	農畜水産物生産現場での農業体験の実施	農政総務課 畜産課 農業技術課 花き農水産課	180人/年	250人/年	378人/年	151.2%	-	ハ	継続	高校生あぐり体験事業、小中学校教育推進地区活動事業は継続実施。	
	学校給食関係者に対する食に関する研修会等の実施	研修会等への参加人数	スポーツ健康課	1,950人/年	計画期間中延べ 10,000人	4,326人 (H20:2,021人)	43.3	43.3	イ	継続	引き続き実施していく。	
	食育実践地域活動支援事業	食育ボランティアの育成数	食の安全・食育推進室	4,694人	5,200人	5,070人	97.5	74.3	口	継続	引き続き実施していく。	

様式 2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成20年度末）

（4）総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備

目標とする事項	取り組み	指標	関係部署	策定時(H17) a	平成23年度末目標 b	平成20年度末実績 c	達成率 (%) c/b	進捗率 (%)	進捗率 分類	今後の方向		備考
										分類	内容	
施策推進のための 情報・意見交換の 充実	リスクコミュニ ケーションの推進 (再掲)	意見交換会等の参加者数	食の安全・ 食育推進室	480人/年	600人/年	986人/年	164.3%	-	ハ	継続	引き続き実施していく。	
	食の安全・食育実 践活動	推進大会参加者数	食の安全・ 食育推進室	200人/年	250人/年	270人/年	108.0%	-	ハ	継続	引き続き実施していく。	
市町村との連携、 情報・意見交換	市町村ネットワー クの構築	市町村担当者会議の開催	食の安全・ 食育推進室	-	計画期間中延べ 10回	3回 (H20:2回)	30.0	30.0	イ	継続	市町村巡回など、今後も連 携を図っていく。	
NPOや食育ボラ ンティア、自主活 動組織との協働	食育実践地域活動 支援事業(再掲)	食育ボランティアの育成数	食の安全・ 食育推進室	4,694人	5,200人	5,070人	97.5	74.3	ロ	継続	引き続き実施していく。	